

一般質問(要旨)

第4回定例会の主な日程

平成20年第4回定例会県議会は、概ね以下の会期日程で開催されました。

- 12月3日(水) 本会議**
開会后、議案が上程され、知事から提案理由の説明が行われました。
- 12月8日(月)・9日(火) 本会議**
議員6名が県政の諸課題について質問を行いました。
- 12月10日(水) 常任委員会**
付託された議案などの審査を行いました。
- 12月12日(金) 本会議**
各常任委員会委員長から審査の経過並びに結果を報告しました。その後、先決議案を採決しました。
- 12月15日(月) 決算特別委員会**
付託された公営企業会計決算、一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について審査しました。
- 12月16日(火) 調査特別委員会**
安心できる食の確保や提供等に関する調査特別委員会を開催し、調査を行いました。
- 12月17日(水) 予算特別委員会**
付託された予算関係の議案などを審査しました。
- 12月18日(木) 本会議**
議案などの採決などを行い、閉会しました。

議員(自民) 産科医不足で県内でも診療休止が相次いでいる。県立中央病院に少数の産科医でも対応できる「院内助産所」を開設し、産科医療を再開することが重要な政策医療と考えるが、病院事業管理者、周産期医療体制崩壊の危機は深刻な状況にあり、一定の産科医の確保をした上で開設できる体制整備も必要と判断し、検討を開始した。

議員 友部病院改築にあたって目指すべき方向性と診療機能の考え方を伺う。また県産石材と笠間焼を採り入れるとともに、旧筑波海軍航空隊の跡地であることから歴史的財産を保存すべき。県産木材を活用し、一般県民も利用でき、患者にもやさしい木造施設の建設も提案する。

病院事業管理者 精神科救急・児童思春期医療・薬物中毒医療・



院内助産所の開設など産科医療の再開が望まれる県立中央病院

県立中央病院に「院内助産所」の開設を一定の産科医を確保した上での開設を検討開始

身体合併症などの政策医療の充実、専門的人材の育成など精神科医療ニーズにできる限り広く対応を目指す。県産石材と笠間焼は活用できるよう努める。歴史的財産などは保存を検討する。また、思春期デイケア棟は県産材で木造施設を新設する。

(ほかに、県立中央病院の救急医療への取り組み、茨城中央工業団地笠間地区へのイオン進出見通しと今後の整備なども質問)

議員(自民) 新利根川のほぼ全域に特定外来生物*の水生植物ミズヒマワリが繁殖し、このまま放置すれば用水機場場のポンプが詰まるなど被害が予想される。繁殖が県全域に広がる前に駆除することが重要だが、対策は、生活環境部長 今後被害発生も考えられるので防除対策を講ずる必要がある。植物の専門家などによる対策連絡会議を設置し、効果的な駆除方法を調査検討している。その結果や他県の駆除実例を参考に、県庁各部及び地元三市町と連携して駆除体制を速やかに整えていく。

議員 藤代駅周辺はJRによって市街地が南北に分断され、特に大型車の往来には不自由している。駅南口区画整理事業地と国道六号のアクセス確保が重要な課題であるが、南北市街地を

特定外来生物「ミズヒマワリ」対策は駆除体制を速やかに整えていく



ミズヒマワリが繁殖する新利根川

結ぶ跨線橋を含んだ都市計画道路の整備見直しは、**土木部長** 常磐線を橋梁で跨ぐ四百八十メートルを最後の区間として整備しており、完成すれば南北が円滑に結ばれる。昨年度から橋脚の工事などを進め、平成二十三年度の供用を目指している。

(ほかに、小貝川下流部及び谷田川の治水対策なども質問)

お知らせ

すべての一般質問の内容は、県議会ホームページの「録画中継映像」や「会議録検索システム」(2月中旬頃に掲載されます。)でご覧いただけます。

県議会ホームページ

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

首都圏計画策定への考えは日本を牽引し世界に貢献できる首都圏に

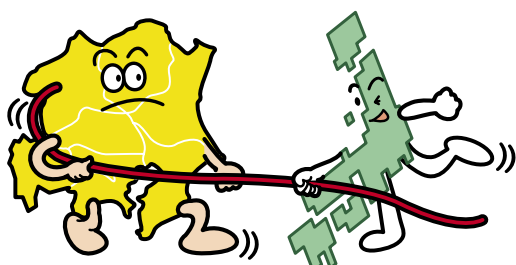
議員(自民) 来年度中を目処に地方が自ら策定する「広域地方計画」は、今後の国土づくり非常に重要な位置を占める。策定には、グローバルかつ個々の地域が発展するような視点と、県民に夢と希望を与える展望が必要。首都圏の広域地方計画策定の協議会会長である橋本知事のリーダーシップと政治手腕が求められるが、考えを伺う。

教育長 県内に集積する研究機関などと連携を図りながら各種事業を展開することで、次代を担う児童生徒の理数や科学技術に対する興味関心を喚起し、その意欲や能力を高めていく。

(ほかに、森林湖沼環境税活用事業の積極的PR、災害時への対応、都市計画道路土浦新治線の整備見直しなども質問)

知事 首都圏が日本を牽引し、世界の中でも重要な役割を担っていく必要がある。国際競争力の強化や安全安心の確保、良好な環境づくり等につながる地域戦略を構築していきたい。

議員 本県からノーベル賞受賞者が出るなど科学技術立県として本県が果たす役割は大きい。科学技術の進展を担う人材の育成にどう取り組んでいくのか。



日本を牽引し世界に貢献できる首都圏に

● 質問者

常井 洋治 (自由民主党)	半村 登 (自民県政クラブ)
小林 靖男 (自由民主党)	鈴木 亮寛 (自由民主党)
伊沢 勝徳 (自由民主党)	小田木真代 (自由民主党)

ことば ※【特定外来生物】…海外起源の外来生物で、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものから指定される。